

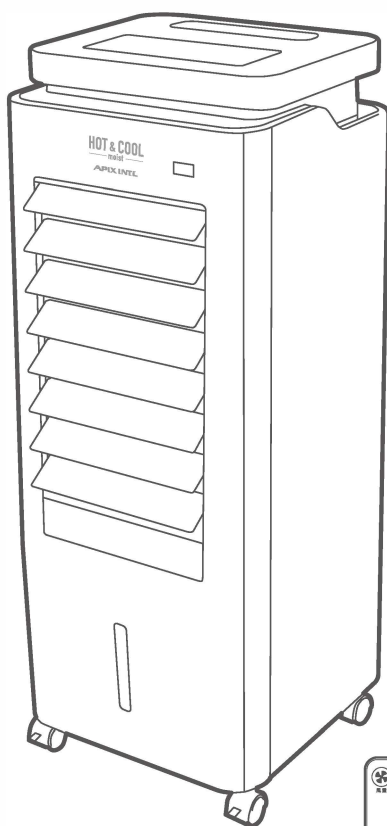
取扱説明書

HOT & COOL MOIST 2

ホット&クール モイスト2

品番

AHC-990R



リモコン

- この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ごぞいます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られるようにしてください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

本製品について	1
安全上のご注意	2-4
各部のなまえ	5-6
ご使用のまえに	7-8
ご使用方法	9-13
お手入れ	14-15
別売品	16
故障かな?と思ったら・仕様	17
アフターサービス	18
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書（裏表紙）には保証書がついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.

本製品について

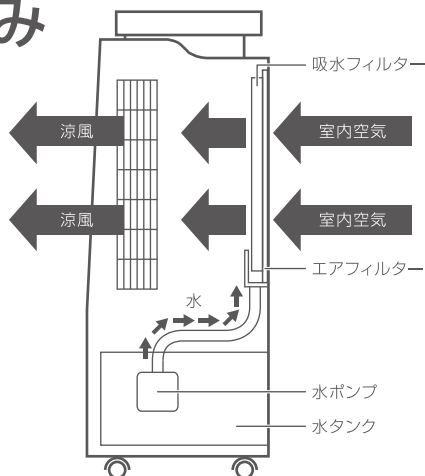
① 涼風/加湿のしくみ

①水を吸い上げる

水タンクの水をポンプで吸い上げ、吸水フィルター全体を湿らせます。

②風の温度が下がる・加湿する

湿った吸水フィルターを風が通り抜ける際、水の蒸発によって気化熱を奪い、風の温度が低下します。同時に空気を加湿することもできます。



⚠ 注意

気化熱作用で温度を下げるため、周囲の温度・湿度によって効果に差が出る場合があります。

② 知っておいていただきたいこと

■涼風 / 加湿運転には水が必要です。

涼風 / 加湿運転をおこなう際は水タンクに水を入れてください。水が入っていない場合は涼風 / 加湿運転になりません。

■お部屋を冷やすことはできません。

この製品はエアコンやクーラーとは違い、お部屋を冷やすことはできません。湿度が高い場合は気化しにくく、涼感が得られない場合があります。

■水タンクの水は毎日新しいものと入れ替えてください。

水タンクに長時間水を入れたままにすると、カビ・異臭・雑菌の繁殖の原因になります。使用後は必ず排水・お手入れをおこなってください。

■フィルターは定期的に交換、お手入れしてください。

エアフィルター / 吸水フィルターにホコリ等がたまると故障などの原因になります。また、しばらくお使いにならない場合は吸水フィルターを十分に乾燥させてください。吸水フィルターは6ヶ月毎に新しいものと交換することをおすすめします。

■水タンクの外側が結露する場合があります。


周囲の温度・湿度が高いときや冷却ボックスを使用した場合には、結露が発生しやすくなりますのでこまめに水を拭き取ってください。


安全上のご注意



必ずお守りください!



ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定される物理的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

本製品は送風によって涼感を得ること、採暖、室内の加湿を目的として一般家庭用に生産された製品です。これ以外の用途では使用しないでください。

警告



禁止

- 本製品は修理、分解、改造を絶対に行わないでください。
発火したり、異常動作でケガをする恐れがあります。
- 機械部等の隙間にピンや針金等の異物を入れないでください。
感電・ショートする恐れがあります。
- スプレー缶や石油ストーブ、火気厳禁扱い物を本体の近くに置かないでください。
爆発・火災の原因になります。
- 過熱を防ぐため、本製品を覆わないでください。
火災の原因になります。
- 本体に水をかけないでください。
漏電・感電・ショートなどの原因になります。
- 温室、浴室、シャワー及び水泳プールの周辺部で本製品を使用しないでください。
漏電・感電・ショートなどの原因になります。
- コンセントが高所にある場合、本製品をコンセントのすぐ下に設置しないでください。
事故の原因になります
- 直射日光の当たらない場所に設置してください。
本体の変質・変色の原因になります。
- 交流100V以外では使用しないでください。
異常発熱して、火災の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、たばねたりしないでください。
また、重いものをコードの上に乗せたり、挟み込んだりすると、局部的に発熱して火災・感電の原因になります。
- コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源コードが破損した場合、ご自分で修理しないで必ず弊社アフターサービスへ修理を依頼してください。
発火や感電・けがをする恐れがあります。
- 延長コードは絶対に使わないでください。
壁のコンセントは2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください!

警告



禁止

●本製品には、室温を制御する装置は備わっていません。自力で部屋を出ていくことのできない方が小さな部屋にいる場合は、常に注意することができない限り、本製品を小さな部屋で使用しないでください。

健康を害することがあります。特に乳幼児・お年寄り・ご病気の方にはご注意ください。



プラグを抜く

●お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。

感電・ショート・ケガの原因になります。

注意



禁止

●小さなお子様や身体の不自由な方など補助を必要とする方だけの使用や、幼児の手の届くところでの使用はしないでください。

また、お子様が本製品で遊ばないよう必ず保護者の方が注意するようにしてください。

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

●小さなお子様・年配の方がもたれたり押ししたりしないようご注意ください。

転倒すると大変危険です。必ず保護者の方が付き添ってご使用ください。

●風を長時間、直接身体に当てないでください。

健康を害することがあります。特に乳幼児・お年寄り・ご病気の方にはご注意ください。

●本体を横にねかせて使用しないでください。

故障の原因になります。

●水平でない場所や不安定な場所に置かないでください。

本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。

●衣類や布等を本体にかぶせないでください。

故障・事故の原因になります。

●障害物(カーテン等)が周囲を遮る場所では使用しないでください。

故障・事故の原因になります。

●次の場所では使用しないでください。

発火して火災・爆発の原因になります。

・ガスレンジ等の炎のちかく
・引火性ガスのある場所
・雨や水がかかる場所

●壁・家具・カーテン・衣類の近くでは運転しないでください。

シミ・変色・変形の原因になります。

●送風口やモーター可動部に指などを入れないでください。

ケガをする恐れがあります。

●たたいたり落としたりなどの衝撃を本体に与えないでください。

故障の原因になります。

●本製品は室内用及び家庭用です。屋外や業務目的で使用しないでください。

本製品は屋外や業務の使用を目的とした仕様になっていないため、故障の原因になります。

●電源コードを収納していない状態で本体を移動させないでください。

電源コードをキャストで踏んだり摩擦で擦れ、故障・火災・ショートの原因になります。

●ルーバーにテープ・シールなどを貼った状態で運転しないでください。

故障・事故・異音の原因になります。

●ルーバーを手で無理に動かそうとしないでください。

手で調節できる仕様では無いため、ルーバーが折れる可能性があります。

●温風運転中や運転直後はルーバー(送風口)など熱い部分には触れないでください。

やけどの原因になります。

⚠ 注意



禁止

- 冷却ボックスのフタは開かないので、無理に開けようとししないでください。
小さなお子様が中の液体を飲んでしまったり、目に入ってしまうと大変危険です。
- 犬や猫などのペットの冷暖房用には使わないでください。
ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災・故障の原因になります。
- 各フィルターのお手入れをおこなわずに使用しないでください。
カビ・におい・雑菌が発生し、健康を害す原因になります。お手入れの後はしっかり乾燥させてからご使用ください。
- 涼風運転の際は、電気製品・時計・パソコンなどの精密機器付近に本体を設置しないでください。
湿気により故障・誤動作の原因になります。
- 水タンクに水が入った状態で本体を揺らしたり傾けたりしないでください。
水漏れの原因になります。
- 水タンクを外した状態で運転させないでください。
故障・水漏れの原因になります。
- 運転中に水タンクを引き出さないでください。
床に水が漏れる恐れがあります。
- 水タンクに水を入れたまま、本体を移動させないでください。
水タンクから水がこぼれ、水漏れの原因になります。
- 水タンクに常温の水道水以外は入れないでください。
水道水(飲用)は、一般に塩素処理がされており、カビや雑菌の繁殖を抑えてくれます。
極端に冷たい水やお湯などは、不具合や故障の原因になります。

入れてはいけない水

 ・浄水器の水 ・アルカリイオン水 ・ミネラルウォーター ・井戸水 ・汚れた水
・40℃以上の温水 ・化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水
- 本製品は外付けタイマー類による使用、及びIoTなどによる遠隔操作を想定して作られていません。
誤作動・故障・事故の原因になります。



強制

- 水タンクを使わない時は水を捨ててください。
水あかやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発したり、健康を害する原因になります。
- 給水の際は、必ず水タンク内に残った水を排水し、新しい水と交換してください。
水を交換しないと、カビ・異臭・雑菌繁殖の原因になります。
- 動かなくなったり、異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
電源プラグを抜いて、弊社アフターサービスまでご連絡ください。▶17ページ
- 涼風/加湿運転後の給水・排水は、運転終了後5分以上経ってからおこなってください。
吸水フィルターから水が落ちてからおこなわないと、床が濡れたり、水漏れの原因になります。

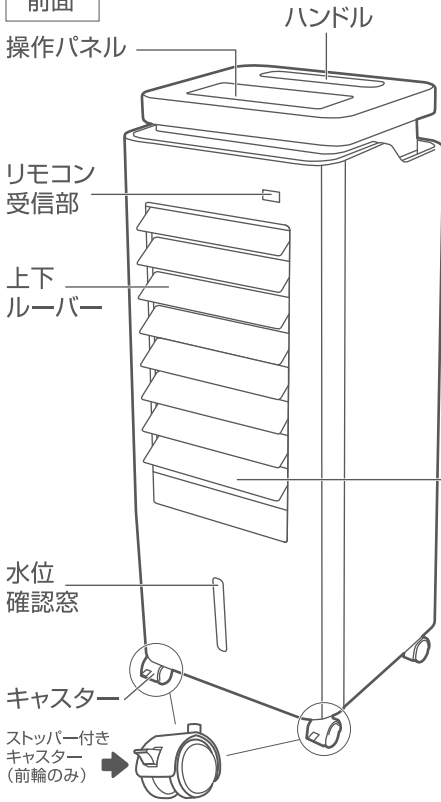


プラグを抜く

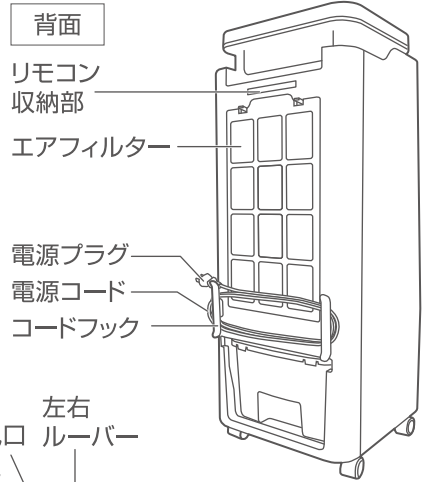
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショートして発火する原因になります。

各部のなまえ

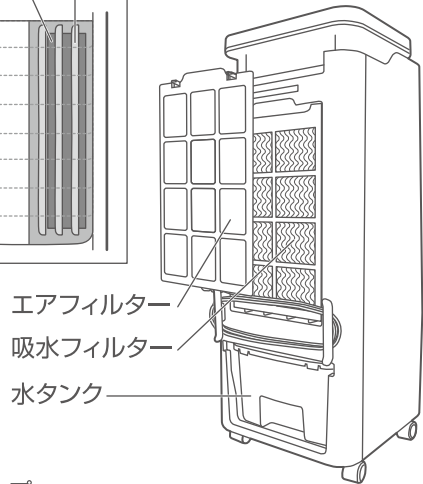
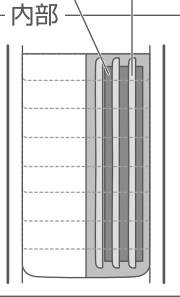
前面



背面

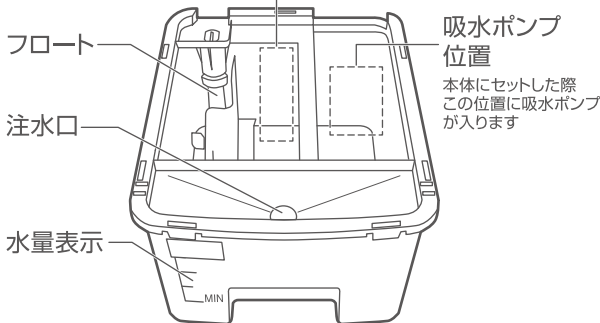


左右送風口ルーバー



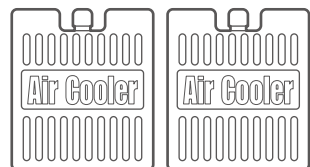
水タンク内

冷却ボックス設置位置



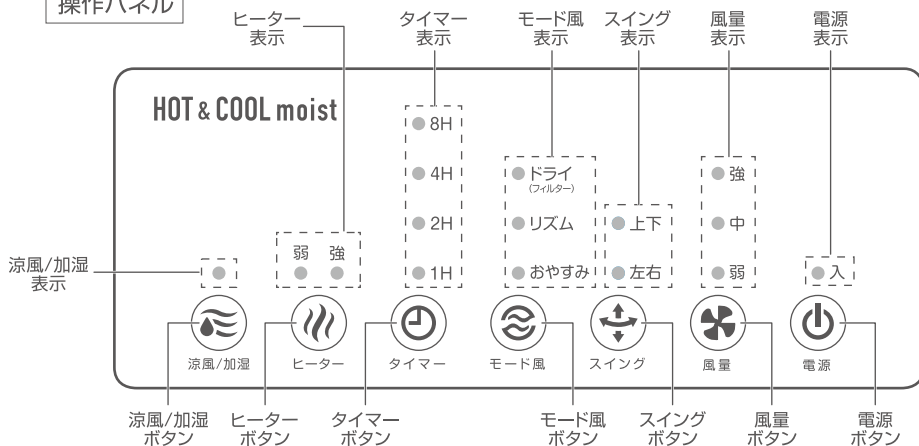
付属品

冷却ボックス 2個

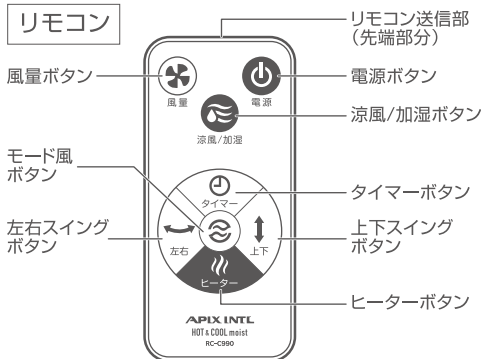


各部のなまえ (つづき)

操作パネル



リモコン



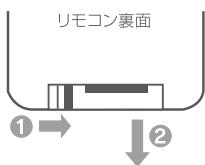
リモコンに関するご注意

- 本体との距離が3m以内の場所から、リモコン送信部を本体リモコン受信部に向けてボタンを押してください。本体とリモコンの間に障害物など遮るものがあると、リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 電池が消耗してくると、正しく動作しなかったり、反応が鈍くなります。その時は新しい電池と交換してください。
- リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。故障・ショートの原因になります。
- 電源ボタンでメモリー機能によるヒーター運転ONはできません。

リモコンの準備

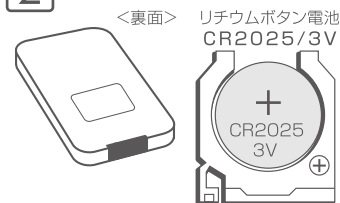
付属の電池はモニター用ですので寿命が短い場合があります。早めに新しい電池と交換することをお勧めします。

1 電池トレイを取り出す。



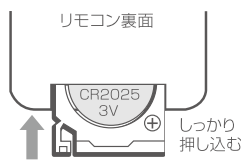
ツメで①を矢印の方向に押しながらか②の方向へ引いてください。

2 電池を電池トレイに入れる。



必ず+面を上に入れてください。

3 電池トレイを取り付ける。

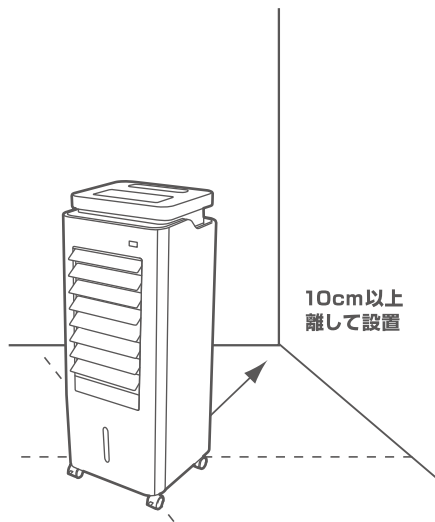


古い電池は各地域の自治体の指示に従って処理をしてください。

ご使用のまえに

本体の設置について

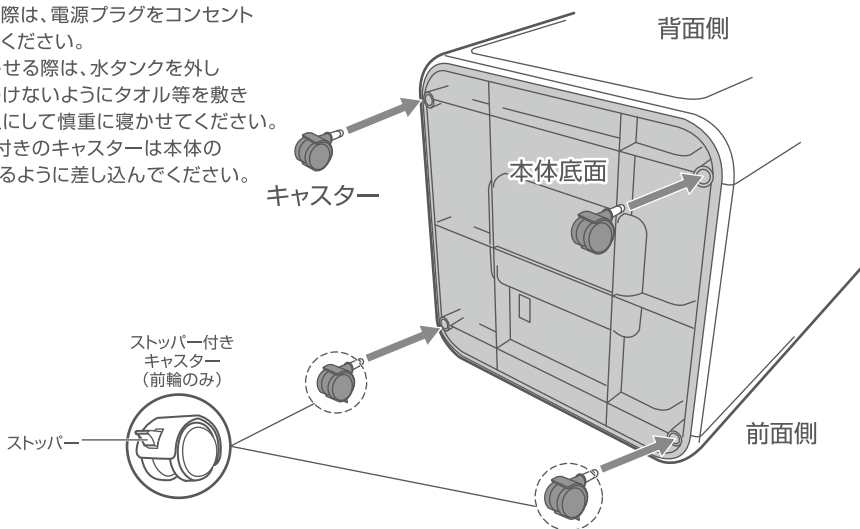
- 畳・カーペット・防水処理されていない床などの上に設置しないでください。
万一水が漏れた場合、シミ・変色などの原因になります。
- 本体背面から空気を吸気するため、後方10cm以上離してお使いください。
モーターに負荷が掛かり、異常発熱・故障の原因になります。
- 家具・カーテン・電子機器の近くには設置しないでください。
家具・カーテンが湿ったり、電子機器・本体が故障する原因になります。
- 水平で安定した場所に設置してください。
転倒して水がこぼれたり、故障・ケガの原因になります。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。
変質・変形の原因になります。
- 本体の移動は必ず運転を停止しておこなってください。
故障の原因になりますので、キャスターのロックを解除してゆっくりと移動してください。
設置後はキャスター前輪のストッパーをおろしてロックしてください。



1. キャスターを取り付ける

本体の底面にキャスターを取り付けるための差し込み穴が4つあります。付属のキャスターの軸を奥までしっかりと差し込んでください。

- 作業をする際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体を寝かせる際は、水タンクを外し床等を傷つけないようにタオル等を敷き背面側を上にして慎重に寝かせてください。
- ストッパー付きのキャスターは本体の前側側にくるように差し込んでください。

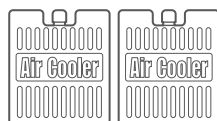


ご使用のまえに(つづき)

2. 冷却ボックスを設置する

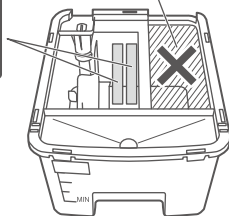
涼風運転時、風をより涼しくしたい場合は、冷却ボックスを水タンク内へ設置します。

- あらかじめ冷凍庫などで数時間冷凍してから使用します。(冷凍しないと全く効果はありません。)
- 冷却ボックスは側面を上にして、水タンクに貼ってあるシールの指示に従って正しい位置に入れてください。
正しい位置に冷却ボックスを入れないと、水タンクが引き出せなくなったり、正常に涼風運転ができなくなる恐れがあります。
- 水タンクに水を入れてから冷却ボックスを入れると、水があふれる恐れがあります。
- 冷却ボックスの冷却効果が無くなった場合は、再度冷凍庫で凍らせてください。



冷却ボックス 2個
(2個まで入ります)

⚠ この位置には
入れないでください

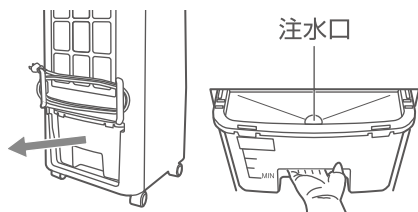


⚠ 冷却ボックスについての注意

- ※フタを開けないでください。内容物を小さなお子様が飲んでしまったり、目に入れたりすると大変危険です。
- ※凍ると膨張します。冷凍庫内のスペースにご注意ください。
- ※冷却ボックスの内容物が皮膚についた場合は、すぐに石鹸と水でよく洗ってください。
- ※内容物を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- ※内容物が目に入った場合は、すぐに水でよく洗い、異常があった時は医師の診断を受けてください。
- ※冷却ボックスを使用して涼風運転をすると、水タンクが結露することがあります。水滴が床に落ちる恐れがありますのでご注意ください。

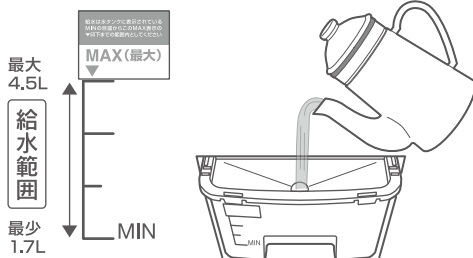
3. 水タンクに水を注ぐ(給水)

① 水タンクを注水口まで手前に引き出す



※水タンクを本体から取り出した状態で給水しないでください。(本体に水タンクを戻す際に水がこぼれる場合があります。)

② やかんなどで注水口にゆっくりと水を注ぐ



※水を入れる量は水位表示の「MIN」と「MAX」の目盛の範囲内としてください。

③ 本体に水タンクを戻す

- ※涼風/加湿運転をするときは必ず水タンクに水を入れてください。
 - ※水タンクの水は毎日新しいものと入れ替えてください。
 - ※必ず水道水を使用してください。水道水以外は抗菌処理されていないため、カビ・雑菌等の繁殖の原因になります。
- 入れてはいけないもの
- ・浄水器の水
 - ・アルカリイオン水
 - ・ミネラルウォーター
 - ・井戸水
 - ・汚れた水
 - ・40℃以上の温水
 - ・化学薬品、芳香剤、アロマオイル、アロマウォーター、洗剤を入れた水

⚠ 注意

- ※水が「MIN」の目盛の位置以上入っていないと涼風運転はできません。
水位が「MIN」の目盛の位置まで下がったら残った水を排水してから、水を補給してください。
- ※水を「MAX」の目盛以上に入れると水漏れや故障の原因となります。
- ※水タンクには40℃以上のお湯を入れないでください。水タンクが変形する恐れがあります。
- ※アロマオイルや、洗剤など水以外のものは入れないでください。製品が故障する恐れがあります。

ご使用方法

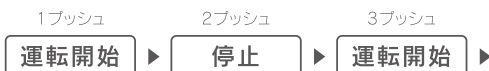
電源プラグを家庭用(100V)コンセントに差し込みます。

※電源プラグを差し込んだ時、全ての操作ボタンを押した時「ピッ」という音が鳴ります。
操作は本体操作パネルとリモコンのどちらでもおこなえます。

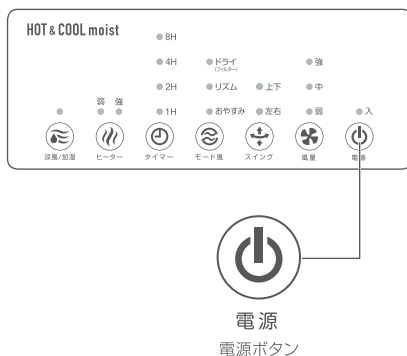
1. 電源を入れ、運転を開始する

操作パネルの【電源】ボタンを押すと電源表示と風量表示「弱」が点灯し、3秒間風量「中」の送風運転をした後「弱」の送風運転を開始します。

【操作の順】



- 運転中に電源ボタンを押すと、「ピッ」という音と共に各表示が消灯し全ての運転が停止します。
- 電源プラグを抜かない限り、再度電源を入れると、3秒間風量「中」の送風運転をした後、前回使用時の設定で運転を開始します。(タイマードライ・ヒーター運転を除く)



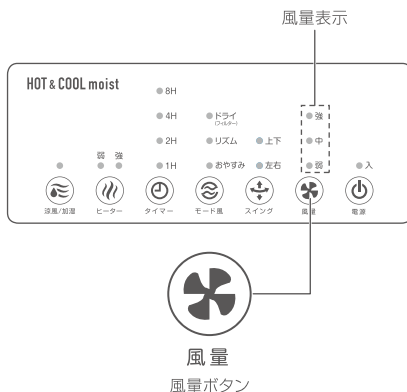
2. 風量を調節する

運転中に操作パネルの【風量】ボタンを押すと風量表示が切り替わり風量を弱/中/強から調節できます。

【操作の順】



- 電源プラグを抜かない限り、再度電源を入れると前回使用時の風量設定で運転を開始します。
- モード風での運転中に通常の送風運転に戻りたい場合はモード風が解除するまでモード風ボタンを押してください。(P.12参照)



ご使用方法 (つづき)

3. ヒーター(暖房)を切り替える

運転中に操作パネルの【ヒーター】ボタンを押すとヒーター表示が切り替わりヒーターを弱/強から調節できます。

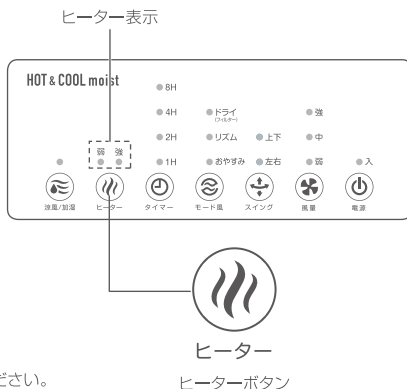
【操作の順】



●ヒーターボタンを押すと、風量は「弱」に固定されます。

※ヒーターの切替まで数秒かかります。

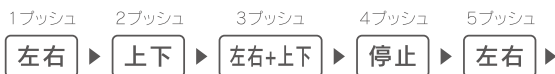
- ヒーター運転を解除する場合は、風量ボタンかモード風ボタンを押してください。
- ヒーター運転を解除したり、本機の運転を停止した時内部のヒーターユニットを冷却して格納するまで約25秒かかります。
- モード風運転中はヒーター運転に切り替えることはできません。モード風が解除するまでモード風ボタンを押してから(P.12参照)切り替えてください。



4. スイングを設定をする

操作パネルの【スイング】ボタンを押すとルーバーの動きが表示され、設定できます。リモコンで設定する場合は【左右スイング】ボタン【上下スイング】ボタンをそれぞれ押して設定してください。

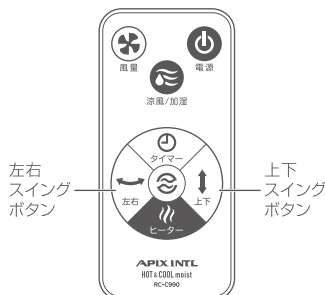
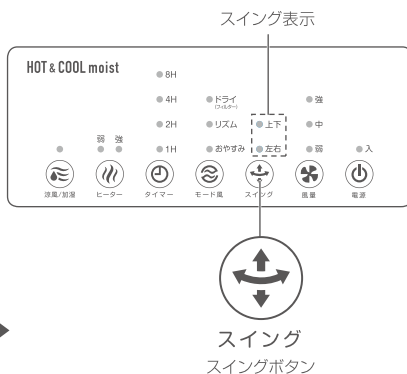
【操作パネルでの操作の順】



【リモコンでの操作の順】



- 電源プラグを抜かない限り、再度電源を入れると前回使用時のスイング設定で運転を開始します。
- ルーバー左右振り角度:約60度、上下振り角度:約50度でスイングします。
- ※スイングは手動で調節できません。ルーバーを手で無理に動かささないでください。



ご使用方法 (つづき)

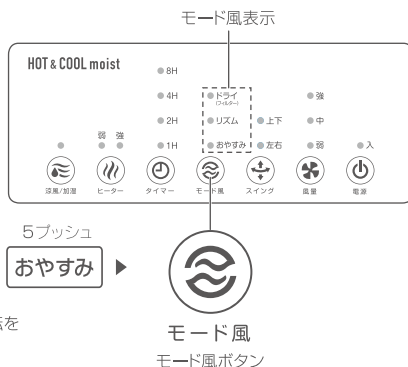
7. モード風を設定する

操作パネルの【モード風】ボタンを押すとモード風表示が切り替わり、おやすみ/リズム/ドライ(フィルター)から運転を選択できます。

【操作の順】



- 電源プラグを抜かない限り、再度電源を入れると前回使用時の設定で運転を開始します。(ドライ運転、ヒーター運転、タイマーを除く)



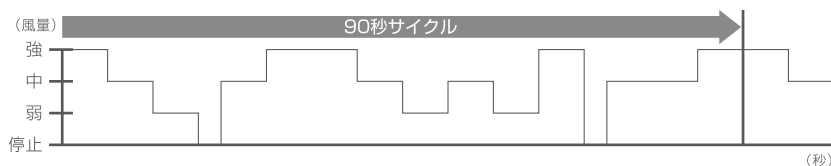
おやすみ

弱(40秒)→停止(2秒)を繰り返します。おやすみ運転設定時に切タイマーも設定すると設定時間が経過した時に自動で運転を停止します。

- おやすみ運転時はヒーターと風量(送風)の設定はできません。ヒーターまたは風量(送風)に設定したい場合はモード風が解除するまでモード風ボタンを押してから設定を変更してください。

リズム

強(6秒)→中(6秒)→弱(6秒)→停止(3秒)→中(6秒)→強(12秒)→中(6秒)→弱(6秒)→中(6秒)→弱(6秒)→強(6秒)→停止(3秒)→中(12秒)→強(6秒)を繰り返して、自然に近い心地よい風を送ります。



- リズム運転時はヒーターと風量(送風)の設定はできません。ヒーターまたは風量(送風)に設定したい場合はモード風が解除するまでモード風ボタンを押してから設定を変更してください。

ドライ(フィルター)

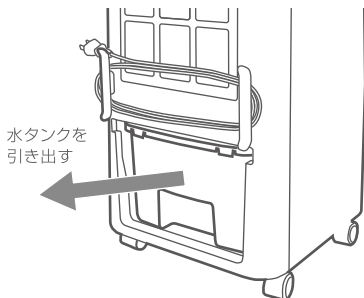
吸水フィルターを乾燥させるために風量「強」で送風運転をおこない20分後に自動で電源がOFFになります。

- 風量の設定はできません。
- ドライ運転をおこなっている間は電源ON/OFF操作と、モード風の変更操作以外はできません。
- ドライ運転をおこなっている途中でモード風以外の運転に設定を変更したい場合は、モード風が解除するまでモード風ボタンを押してから変更するか、電源ボタンを押し電源を入れ直してから設定してください。

ご使用方法 (つづき)

8. 排水のしかた

①水タンクを本体から外す



②水タンクの水を捨てる



⚠ 注意

※涼風/加湿運転後の排水は、運転終了後5分以上経過してからおこなってください。

涼風/加湿運転直後に水タンクを外すと吸水フィルターに残った水が本体底(水タンク下)や床に流れ出てしまう恐れがあります。

※水タンクを本体から外す際は、本体の下に布を敷くなど、床が濡れないようにおこなってください。

※排水後、水タンクを本体に戻す際は、水に濡れたまま戻さないでください。

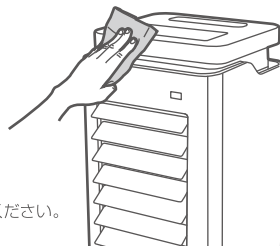
※本体底(水タンク下)に水がこぼれたら、タオル等ですぐに拭き取ってください。

お手入れ

末永くお使いいただくために必ず定期的にお手入れをおこなってください。
お手入れ前に運転を停止して電源プラグを抜いてください。

1. 本体のお手入れ

汚れがついたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけ、よく絞ってから拭くと
汚れが落ちやすくなります。



⚠ 注意

※シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・みがき粉は使用しないでください。
※強くこすり過ぎないようにご注意ください。キズなどの原因になります。

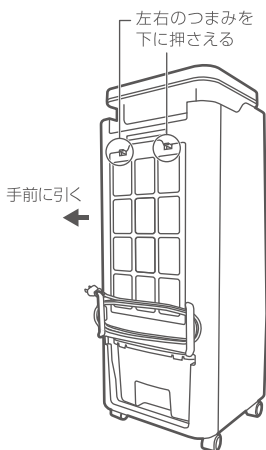
2. エアフィルター/吸水フィルターのお手入れ

2週間に1回を目安にお手入れをおこなってください。(汚れがひどい時はその都度おこなってください)
吸水フィルターは6ヶ月毎に新しいものと交換してください。

① エアフィルターを取り出す

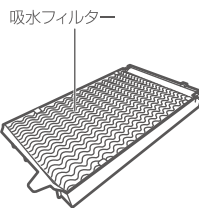
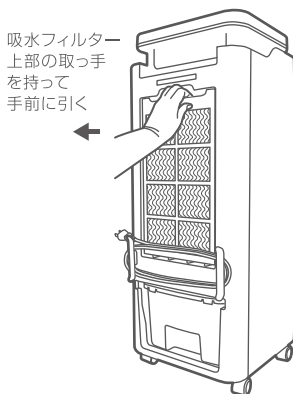
エアフィルターの左右のつまみを
下に押さえながら、手前に引いて
取り外します。

※取り付けの際はエアフィルターの下部を
先に本体に差し込んでから上部を
はめてください。(格子がある方が外側)



② 吸水フィルターを取り出す

吸水フィルター上部の取っ手を持って手前に引いて取り出します。
※取り付けの際は吸水フィルターの下部を先に本体に差し込んでから
上部をはめてください。(格子がある方が外側)



⚠ 吸水フィルターをフレームから取り出さないでください。

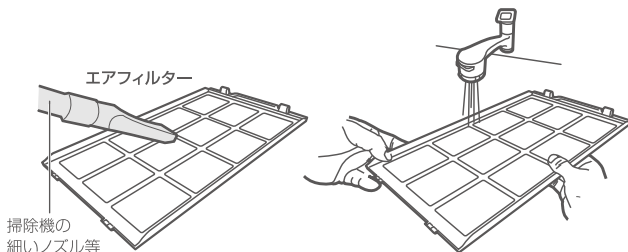
お手入れ (つづき)

2. エアフィルター/吸水フィルターのお手入れ(つづき)

③各フィルターに付着したホコリ・汚れを掃除機で吸い取った後、水洗いする

各フィルターは非常に傷みやすいため破れないようにやさしくお手入れしてください。

吸水フィルター上部の穴の部分もホコリ・汚れなどがたまらないようにお手入れしてください。

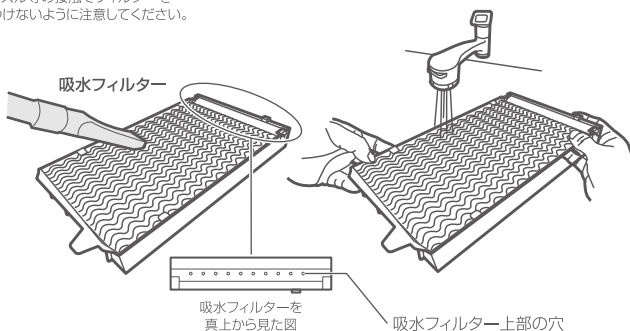


掃除機の細いノズル等

※ノズル等の接触でフィルターを傷つけないように注意してください。

⚠ 注意

- ※各フィルターをお手入れの際は、洗剤や薬品を使用しないでください。
- ※各フィルターを強く洗いすぎないでください。破れや型くずれをおこし、機能しなくなります。
- ※お手入れ後は、各フィルターをよく乾燥させてください。
- ※吸水フィルターは6ヶ月毎に新しいものと交換してください。



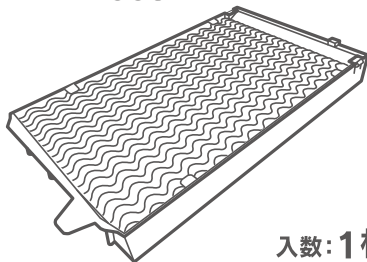
吸水フィルターを真上から見た図

吸水フィルター上部の穴

別売品

吸水フィルター 品番 AWF-003

消耗品



入数: 1枚

メーカー希望小売価格
1,980円(税込)

SHIZUKU ナノプラチナウォーター 品番 APW-002

おすすめ



水タンクに
直接入れるだけ!

水タンクもお部屋も
除菌・抗菌・消臭

内容量: 約320ml
メーカー希望小売価格
1,680円(税込)

※インターネット販売は、PC、スマートフォン、携帯電話からご利用いただけます。

(右の2次元コードを読み取ってアクセスすることも可能です。)

※メーカー希望小売価格は、2024年1月現在のものです。



2次元コード

部品購入に関する
お問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売

www.apix-direct.jp

営業時間: (平日)月曜日 ~ 金曜日

※祝祭日を除く

午前10:00~11:30 午後1:00~5:00

※1. 携帯電話・PHSからご利用できます。

※2. 混雑時には繋がりにくい場合があります。
時間をおいてからお掛け直してください。

予備回線

0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

故障かな?と思ったら...

症状	原因	処置・確認
リモコンがきかない	電池の残量が少なくなっていないですか?	付属の電池はモニター用ですので早めに新しい電池と交換してください。
	本体との間に障害物などありませんか?	障害物を取り除き、リモコン受信部に向けて操作してください。▶6ページを参照
	電池の(+)(-)向きは正しくセットされていますか?	電池の向きを確認して正しくセットしてください。
水が漏れる	水タンクを引き出したまま運転していませんか?	運転の際は水タンクをしっかりと奥まで入れてください。
	本体底(水タンク下)に水が溜まっていませんか?	本体底(水タンク下)の水を布やタオルなどですぐに拭き取ってください。
	水タンクに水が入った状態で本体を移動させていませんか?	水タンクに水が入っている場合は本体を移動させないでください。
	本体は水平な安定した場所に設置していますか?	水平な安定した場所に設置してください。
	吸水フィルターは正しく取り付けられていますか?	吸水フィルターを正しく取り付けてください。▶14ページを参照
運転が停止した	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか?	タコ足配線やテーブルタップは禁止です。100Vコンセント単独で使用してください。
	切タイマー運転が設定されていませんか?	再度、電源を入れ直してください。
	運転開始から12時間を経過していませんか?	消し忘れ防止のため12時間を経過後に自動で運転を停止します。再度、電源を入れ直してください。

- 上記内容を全てお試しの上で直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は弊社アフターサービス(18ページ参照)までご連絡ください。
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

仕様

電源	AC100V 50/60Hz	水タンク容量	(約)4.5リットル
消費電力	電気加湿機 100V 50/60Hz : 52/56W	ルーバー振り角度	左右:(約)60度 上下:(約)50度
	電気温風機 100V 50/60Hz : 1200W	リモコン電池	リチウム電池(CR 2025 DC3V)×1
加湿量	冷風時: 700ml/h 温風時: 250ml/h ※数値は目安です。室温、湿度など環境によって変わります。	コードの長さ	(約)1.8m
製品寸法	(約)幅290×奥行315×高さ746(mm)	材質	本体: ABS樹脂、ポリカーボネート 水タンク: ポリプロピレン 冷却ボックス: ポリエチレン
本体質量	(約)8.1kg ※キャスター、冷却ボックス、リモコン含む		

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

製品についてご不明の場合には、お買い上げの販売店、または弊社アフターサービスまでお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- *保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参、または弊社にご連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- *保証期間が過ぎていた場合は、弊社にご連絡、ご相談ください。
- *保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、または語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- *この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- *保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- *保証期間はお買い上げから1年間です。

修理・部品購入のお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容

- 品名
- 品番
- お買い上げ日
- 故障の状況
(できるだけ具体的に)



2次元コード



※品番は表紙、保証書に記載あります。

修理に関するお問い合わせ

0120-350352

部品購入に関するお問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売

www.apix-direct.jp

営業時間：(平日) 月曜日～金曜日
※祝祭日を除く

午前10:00～11:30
午後 1:00～ 5:00

- ※1. 携帯電話・PHSからもご利用できます。
- ※2. 混雑時には繋がりにくい場合があります。時間を置いてからお掛け直してください。

予備回線：0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

廃棄について

廃棄処分をされる場合はお住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。